

2014年8月17日 主日礼拝  
説教「ヨセフ物語① 神さまの計画」  
創世記 37章 5-11節

【ヨセフの夢】

ヨセフの見た二つの夢。神さまはこの夢を通して、ご自分の計画についてひとつのことを示された。神さまの計画とは、アブラハムの子孫を通して、全地が祝福されるという計画。すべての国民が、神さまを知って、神さまと共に歩むようになること。神さまは、この計画の中心人物に、11番目のヨセフを選んだ。神さまは、ヨセフにはリーダーの役割を、他の11人の兄弟には、ヨセフを助ける役割を与えました。ですから、兄たちのなすべきことは、競争したり、ねたんだりすることではなかった。ヨセフを支え、ヨセフを導いてリーダーとして育てること、成長させることでした。

【神さまの計画】

兄たちはヨセフをエジプトに売ります。けれども、不思議な方法で神さまは計画を実現されました。奴隷から牢獄、そして宰相へ。この間に兄たちも神さまに取り扱われて、ヨセフに神さまからの権威を認めるようになる。心からおじぎをするようになります。未熟だったヨセフを、エジプトでの訓練がほんとうのリーダーにします。神さまの深い憐れみを知り、罪人を覆う愛を身につけた、神さまに似た憐れみの人へ。人を導き、神さまに向き直らせるリーダーに。

「あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした」(50:20)。兄たちのねたみや殺意は悪であり、罪。神さまはそんなことを計画されません。けれども、神さまはその悪をも用いて、良いことに用いることができる。ヨセフがすんなりとリーダーになっていたよりも、さらに良いことをなさる、不思議な神さま。ご自分のスケジュール表が、ちょっとでも狂うとパニックに陥るような神さまではありません。人の自由な意思を尊重しながら、ご計画をなしとげる。そして、与えられた自由を神さまと人を愛するために用いる人を作り上げる。それが私たちの神さまなのです。

【神さまの大きなうでの中で】

聖書によるなら、未来は、神さまと私たちが作っていくもの。神さまは人にとっても大きな役割を与えます。未熟で無力な私たちとともに働こうとされる。これは無謀に思えます。私たち自身にとっても、だいじょうぶかな、と、思うようなこと。でも、だいじょうぶ。それは大きな神さまの腕の中で行われる。私たちの弱さも神さまに委ねればよい。クリスチャンの人生にも、さまざまなきことが起こる。自分の身にも家族の身にも。経済的な試練、病、人間関係のトラブル。いつも何かある。けれども、すべてのことが神さまの腕の中で起こっている。神さま

は今のこの悩みを用いて、そうでなければ、起こらなかったもっと大きな祝福を実現される。悩みの中で、私たちはたがいに覆い合う人々に変えられて行く。そして、そんな私たちをとおして、神さまの計画が実現していく。私たちの愚かさや、悪をもおおわずにはいられない神さまの大きな。神さまとともに働く者たちを通して、世界を覆う神さまです。

【神さまの祝福】

人生において選択を迫られるとき、私たちは神さまの導きを求めて祈ります。けれども、はっきりとした答が得られないことも多くあります。神さまに従うことは、ただロボットのように、言われた通りするという事ではない。むしろ、神さまの愛を知り、神さまの思いを尋ねながら生きること。だから、二つの選択のどちらかを選べば、すべて上手くいき、違う方を選べば、何もかもうまくいかない、そんなことではない。そうではなくて、神さまは、あなたを祝福する。どんな選択をしようと、そこで祝福する。たとえまちがった選択をしても、それを良きことに変えてくださるのです。

たとえ罪を犯したとしても、この神さまの祝福は絶えることはありません。自分の播いた種を刈り取ることが出来ない私たちです。けれども、それらすべてを、主イエスが負ってくださり、神さまの計画の実現に向かって、私たちが歩み出させてくださるのです。